

友の会 NEWS

The National Museum of Modern Art, Kyoto
京都国立近代美術館

May 2010

ごあいさつ



ローマ追想展 開会式

当館の「友の会」は、2008年5月に開催の「ルノワール+ルノワール」展から、新たな活動をすすめて参りました。各展覧会には、会員の方々を対象とした解説会を開催するほか、昨年の「京都学—前衛都市・モダニズムの京都」展では、展覧会の理解を深めていただこうと、展覧会で触れた旧島津邸（現バプテスト病院）や、平安神宮を設計した伊東忠太の代表作「祇園閣」などを特別に見学する機会を設け、多数の会員の方々にご参加をいただきました。

当館は、2013年に開館50周年を迎えます。この記念の年には、大規模な特別展の開催を計画し、さらなる当館発展の足場とすべく願うとともに、「友の会」についても、より多くの方々に会員となっただけのよう、思い切った変革も必要だと考えております。具体的には、現在一般会員5,000円、学生会員3,000円の会費の大幅な値下げを検討し、「友の会」会員の方々には、できるだけ低額の料金で、展覧会を鑑賞いただけるようにいたしなくてはなりません。行事は順次縮小し、「京都国立近代美術館ならではの展覧会を低料金で」をモットーとして、今後検討して参りますので、どうぞ皆様のご理解賜りますようお願い申し上げます。

解説会や鑑賞会には、毎回ご参加いただく会員の方もおられ、「友の会」独自の行事は、継続して企画してほしいとの声も寄せられております。ただ、今年1月から3月にかけて、館内改修工事のため休館せざるを得ない状況となり、コレクション展をはじめ展覧会を開催することができなくなりましたことは、「友の会」特典の活用にご不便をおかけし、まことに申し訳なく思っております。

さらに、この休館中の行事として「友の会」としてはじめて企画した海外美術鑑賞ツアーも、残念ながらご希望者が少なく、中止せざるをえない結果となり、参加を希望された方々にも重ねてお詫び申し上げます。



稲垣兄弟展 会場

また、すでにご報告いたしましたとおり、京都市美術館、京都国立博物館そして京都文化博物館と連携して「京都ミュージアムズ・フォー」と命名された組織では、友の会会員の方々には、各館の展覧会を団体料金でご覧いただけることとなりました。

なお、現在ご入会の皆様には、1年間の有効期間が確保されますよう、従来行って参りました担当研究員による展覧会ごとの解説会や、折をみでの見学会などは、なお継続して企画いたします。

さらに生まれ変わる新たな「友の会」にも、どうぞご支援下さいますようお願い申し上げます。



美術館前景

2010年5月

京都国立近代美術館「友の会」事務局長
山野英嗣（当館学芸課長）

● 展覧会のお知らせ

稲垣仲静・稔次郎兄弟展

期間：5月18日（火）～6月27日（日）

5月18日より当館4階にて、日本画家・稲垣仲静と、型絵染人間国宝・稲垣稔次郎の兄弟展を開催中です。第二回国展で入賞して注目を浴び、日本画家としての将来を期待されながらも、25歳の若さで病死した兄・仲静。若年の死ゆえ遺作は数少ないものの、本企画展では、新たに発掘できた作品も多く、現在所在を確認できているほぼ全ての作品をご覧ください。一方、三越や松坂屋の図案部に勤務しながら、染色の知識や技術を独学で身につけた弟・稔次郎。昭和6年に退職後には、染色作家としての活動に専念し国内外で高く評価され、還暦を迎える年に型絵染の人間国宝に認定されました。稔次郎の願いでもある兄（仲静）との兄弟展、当館にて6月27日までご覧いただけます。



稲垣仲静・稔次郎
2010年5月18日～6月27日
京都国立近代美術館4階
当展覧会チラシ



稲垣仲静《太夫》（部分）1922



トマーソ・クッチョーニに帰属
《コロッセオ》1855



当展覧会チラシ



シャルル・スーリエ《テヴェレ河、
サンタンジェロ橋》1865-68
©Fotomuseo-ING, Italy

ローマ追想 19世紀写真と旅

期間：5月20日（木）～6月27日（日）

古代ローマ時代から、西欧文明圏の中心的存在であり、絵画や文学、映画など様々な芸術形態で描かれてきたローマは、18世紀から19世紀にかけてイギリスの貴族階級の遊学旅行の主要訪問先となり、また鉄道など交通機関の近代化により遠方からたくさんの一般旅行者も引き寄せました。当時、パリで写真技術が発表され、ヨーロッパ各国に普及され、写真は旅を記録する重要な役割を担います。またその頃、古代遺跡の発掘調査・保存活動が進んでいたローマには、都の残影を求め多くの写真家が訪問しました。紀行文学や絵画から得たイメージを重ね合わせ、幻想の街として撮影されたこれらの写真は、旅行案内として一般に普及し、「ローマ」イメージの原型となっています。本展では、イタリア・モデナの写真美術館に寄託された、19世紀写真のコレクションから約130点のオリジナル・プリントを展示します。また、ローマの地を訪れた日本画家・吹田草牧の日記資料を笠岡市立竹喬美術館からも出品いただき、日本とローマの関わりをより理解できるようにもしています。

◆ 友の会会員の特典 ◆

上記展覧会では、「友の会」の会員の方々のための解説会を開催いたしますので、ご参加お待ちしております。

6/20（日）11：00～ローマ追想 19世紀写真と旅 解説会

解説者：当館研究員 牧口千夏

6/25（金）17：00～稲垣仲静・稔次郎兄弟展 解説会

解説者：当館主任研究員 松原龍一

* これからの一般講演会 * ※いずれも京都国立近代美術館にて、聴講無料、先着100名

6/12（土）午後2時～3時半「稲垣稔次郎 その人と作品―典型からリピートへ―」

講師：中井貞次氏（京都市立芸術大学名誉教授）

6/13（日）午後2時～3時半「仲静芸術の魅力」

講師：上園四郎氏（笠岡市立竹喬美術館長）

6/27（日）午後2時～3時半「19世紀写真におけるローマ」

講師：マリア・フランチェスカ・ボネッティ（ローマ国立グラフィック研究所研究員）

NFC所蔵作品選集 MoMAK Films@home

【イタリア映画上映】

6月19日（土）・20日（日）各14：00～

「ペリッソマ」（監督：ルキーノ・ヴィスコンティ・54）

ほか、全4作品（予定）

全作品35mm・日本語字幕

上映作品、各回のスケジュールについては

HP（www.momak.go.jp）をご覧ください。

会場：京都国立近代美術館1階講堂

料金：1プログラム 500円

主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター

解説会のお申し込みについて

会場：当館 展示室（3・4階）

定員：20名（要申込・先着順）

参加費：無料

（会員様と同伴者一名様まで）

申込先：京都国立近代美術館庶務課事業係

TEL 075-761-4115

平日10時から5時まで

備考：解説会終了後、会場に入られる場合、二回目以降の方と同伴者は別途観覧料が必要です。